

燃料消費量低減管理手順書

文書番号

PN003

1. 目的

この手順書は、車輛用並びに環境技術部用燃料等の有効利用に努めるための実施手順を定めることにより、富士企業株式会社の環境マネジメントシステムを確立し、継続的に改善し、以ってより良い環境マネジメントシステムを構築することを目的とする。

2. 燃料消費量の管理

- 1) 各部門内責任者は、環境管理プログラムにおける燃料消費量の低減の目的・目標を、従業員に周知させ的確な履行を促す。
- 2) 各部門内責任者は、自部門における燃料消費量の低減状況を的確に把握し、環境管理プログラムから逸脱しないよう管理する。
- 3) 各部門内責任者は、燃料消費量の低減を的確に行うための担当者を指名する。指名されたものは、活動並びに記録の管理責任をもつ。
- 4) 部門内責任者は日常の管理において不具合な面があれば、従業員に適切な指示とその履行を促す。
- 5) 事務局は毎月、燃料消費量を確認するとともに記録し、環境管理責任者に報告する。
環境管理責任者は、燃料消費量の低減状況がプログラムに適合しないか、しなくなることが予測される場合、部門内責任者、推進員に必要な指示を与え、プログラムからの逸脱を防止する。

3. 具体的な方法

1) 車輛に係る燃料消費量の低減

各車輛担当者は、本務作業外において、駐停車時はアイドリングストップを励行し、アイドリングストップ実績管理表(様式『燃 2』)に実績を記録すること。

各車輛担当者は、タイヤの空気圧を適性に保ち、急発進、急停車、空ぶかしをしないこと。

各車輛担当者は、作業時最低必要以外の物を常時搭載して移動しないこと。(不用不急な物品類、雑多で同種類の工具類、以前の作業等で使い残した材料等)

各車輛担当者は、「作業日報」に定める点検を確実にを行い、記録する。

2) 環境技術部の燃料消費量の低減

部門内責任者は、煮沸工程をもつ作業については、効率的なガス利用を行うため、「要領書」に従って作業を行う。

担当者は、月に一回、ガス計量器の値を読み、所定の用紙（[様式『燃 - 1』](#)）に燃料消費量として記入し部門内責任者並びに事務局に報告する。

関連文書等

作業日報

環境技術部「要領書」

記録用紙([様式『燃 - 1』](#))

記録用紙([様式『燃 - 2』](#))

改訂版番号	改訂理由と主な改定内容	改訂年月日	事務局印	承認者印
第1版	初版	H.11.11.15		許田
第2版	環境推進委員会による全面見直し	H.12. 1.15		許田
第3版	環境管理責任者による見直し	H.12. 4.14		許田
第4版	環境推進委員会による全面見直し	H.17. 4.11		許田